

MISUMI Art Collection

Frank Stella (フランク・ステラ)

〈エイハブの脚 「白鯨」シリーズ〉、1985~89年、スクリーンプリント、
リトグラフ、リノリウム・ブロック、手彩色、コラージュ／紙

1959年、ニューヨーク近代美術館(MoMA)の「16人のアメリカ作家」展に最年少の23歳で出展したフランク・ステラは、その後1970年、87年と同館で2回個展を開いている。それまでMoMAで個展を2回行ったのは歴史上、ピカソとマチスのみ。まさにアメリカを代表する作家なのだ。

シリーズ(連作)の名に小説家メルヴィルの『白鯨』を冠して、章の数と同じレリーフ(半立体)と版画、計135点の作品を制作、その中の1点。

複数の技法を組み合わせ、雲形定規の形や中国の窓格子の 패턴の他、よく見ると切り抜いた版画を貼り付けたり、愛用のスニーカーの足跡までも材料に。

昨年10月から今年2月まで、ホイットニー美術館で個展を開いた80歳のステラ。「展示は自分で決めた。学芸員に任せると何でも年代順に並べてしまう、50年前も今も同じ僕が作品を作っているんだから時代の違うものを並べても構わないだろ」と語ったステラの笑顔は30年前と同じだ。



ミスミグループ通信 vol.45

2015年4月1日~2016年3月31日



株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL:(03)5805-7037 FAX:(03)5805-7372

URL: <http://www.misumi.co.jp/>

証券コード:9962

Top Message

メーカー事業と流通事業を併せ持つ
ミスミならではの強みを発揮し、
グローバル競争力をより一層強化してまいります。



代表取締役社長 CEO 大野 龍隆

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
製造業を取り巻く世界規模の環境変化を追い風に、ITを活用したメーカー事業、
流通事業のさらなる構造的な強みの強化と事業基盤の刷新により、
生産材プラットフォームへの業態変革を目指します。

■2016年3月期連結業績について

2016年3月期(以下、2015年度)におけるミスミグループを取り巻く経営環境は、米国の金融政策の正常化や中国をはじめとするアジア新興国の景気減速の影響等により一部に弱さがみられるものの、個人消費の底堅い動き、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が継続しました。

地域別に見ると、米国では個人消費や民間設備投資の増加もあり、景気の回復が続きました。欧州では失業率や物価の動向、地政学的リスク等の懸念材料はあるものの、景気は緩やかに回復しました。中国では景気は緩やかに減速しました。アセアン地域は景気は弱い動きが続きましたが、一部に持ち直しの動きも見られました。

こうした環境において当社は、高品質・低価格・確実短納期を追求するとともに高い納期遵守率を維持しつつ業績の拡大に取り組んでいます。さらに、国内外の拠点に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるため、ウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外における拠点展開として、最適調達を

目的とした現地生産・現地調達の取り組みを推進し、グローバル確実短納期供給体制の強化に努めました。これらの取り組みにより、自動車業界やスマートフォン関連を中心としたエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだFA事業の好調と、取り扱いメーカー数を拡大し顧客数が増加したVONA事業の成長が連結売上高全体の増加を牽引しました。

その結果、連結売上高は2,401億円、前年比15.1%の増収となり、5期連続で過去最高を更新しました。

また、利益につきましては、営業利益は前年比8.1%増益の256億円、当期純利益は前年比18.3%増益の169億円となり、売上高と同様、過去最高を更新しました。

配当金につきましては、2011年度期末配当より配当性向を20%から25%に引き上げておりますが、今年度もこの基準を引き続き維持し、1株当たり期末配当金は8円5銭とさせていただきます。これにより、年間配当金は中間配当金7円37銭と合わせまして、15円42銭(前年比2円37銭の増配)となりました。

※2015年7月1日付で、当社株式を1株につき3株の割合で分割しております。

■事業領域の拡大とグローバル展開

生産材プラットフォームへの業態変革



近年IT技術の飛躍的な発展を背景に、欧州の「インダストリー4.0」、米州の「インダストリアル・インターネット」、中国の「中国製造2025」などによる製造現場の変革が進んでおります。そうした中、生産設備関連部品や製造副資材市場においては、設計工数の短縮や効率的な購買プロセスへのニーズが高まっています。

このような製造業のグローバルな構造転換が進む中、当社は昨年12月に「企業体」「商品事業本部」「サービスプラットフォーム」の一部改組と同時に「地域企業体」を発足させ、グローバルの地域ごとに全権を持つ組織が、地域特性を把握しながら高まる需要に対応する体制を整備しました。

また、各事業の構造的な強みをさらに強化するため、メーカー事業は商品領域拡大と生産体制拡大を軸に、流通事業は品揃えの継続強化とグローバル展開加速を軸に、そして両事業を支える事業基盤(プラットフォーム)はグローバル製造業最適化を軸に、そしてそれらを強力なIT基盤が支えることで、生産材プラットフォームへの業態変革を推進してまいります。

以下、メーカー事業、流通事業、事業基盤(プラットフォーム)について、業態変革の主な取り組みをご紹介します。

■メーカー事業の強化

新たな顧客接点の強化



〈商品領域拡大とCAD対応強化〉

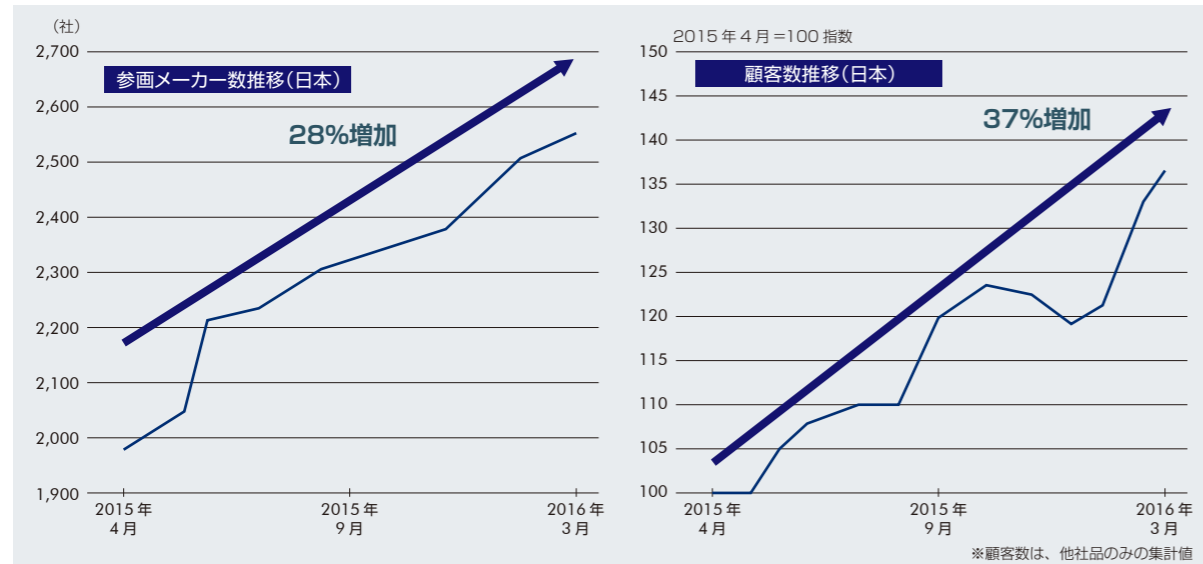
FA事業や金型部品事業で構成されるメーカー事業において、これまでミスミグループは機械部品の標準化に成功し、顧客の部品選定・調達を革新してまいりました。MTO品(受注製作品)についても、設備設計の担当者が紙カタログやウェブカタログを通してミクロン単位でサイズを指定した部品を国内標準納期2日(48時間)でお届けするなど、顧客に対して高い利便性を提供してまいりました。

今後は、標準品における確実短納期・一個流しという当社の強みを活かし、準標準品、特注品へと商品領域を拡大してまいります。

そして、これまでの紙カタログ、ウェブカタログに次ぐ第3のメディアとしてCAD対応を強化し、商品仕様の自由度を飛躍的に向上させてまいります。このCADを通じた新たな顧客接点強化のために開発したのが、設備設計支援のためのツール群「RAPiD Design」です。世界規模で高まっている設計工数削減ニーズや開発リードタイム短縮ニーズに応え、設備設計プロセス全体を大幅に効率化し、顧客に高い利便性を提供してまいります。

■流通事業の強化

VONA事業成長ドライバー



〈取扱メーカー数が顧客数に寄与〉

VONA*事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品から、製造副資材やMRO(消耗品)等へ品揃えを大幅に拡大し、生産間接資材全体を事業の対象領域としています。非効率・高コストの部品流通プロセスをミスミ独自のモデルで変革し、当社の強力な基幹システムとウェブによって生産現場に必要な資材をワンストップで注文し、確実短納期でお届けすることにより、顧客である設計者や購買担当者の直面する問題を解決し、利便性を抜本的に向上させています。

2015年度は、引き続き事業の成長ドライバーである

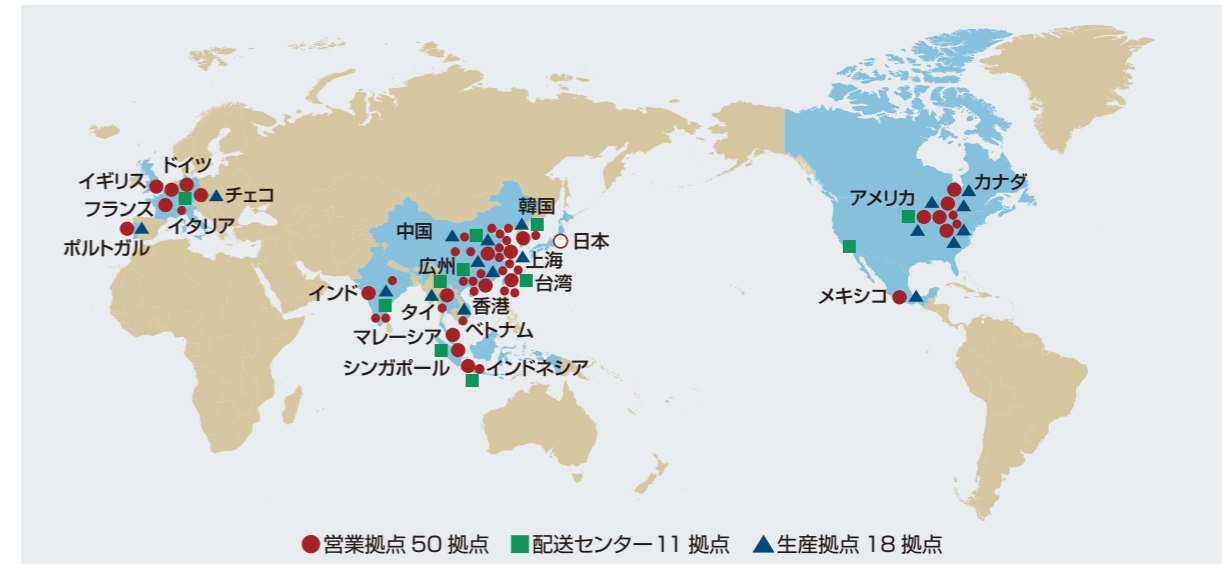
取扱メーカー数の拡大による品揃え強化に努め、取扱点数は全社で1,200万点、取扱メーカー数は2,500社を超えました。

その結果、生産材分野におけるワンストップ性がより一層強化され、顧客数も大幅に増加しました。顧客数増加は、調達のコストダウンや積極的な在庫点数増による納期短縮などの効果を生み、顧客数をさらに拡大させるという、好循環に繋がっています。

※VONA:Variation & One-stop by New Alliance

■グローバル展開の加速

海外拠点



〈生産体制の拡大〉

グローバルでより一層の競争力強化と商品の安定供給を図るため、グローバル確実短納期供給体制を構築しています。具体的には、駿河生産プラットフォームを核とする日本、2014年3月から南通工場が本格稼働した中国、2015年度に第4工場を拡張したベトナム、さらに2016年度からは、欧米を加えた5極生産体制をもとに、より一層充実したグローバルサプライチェーンを構築し、FA事業・金型部品事業におけるMTO品(受注製作品)の競争力を強化してまいります。

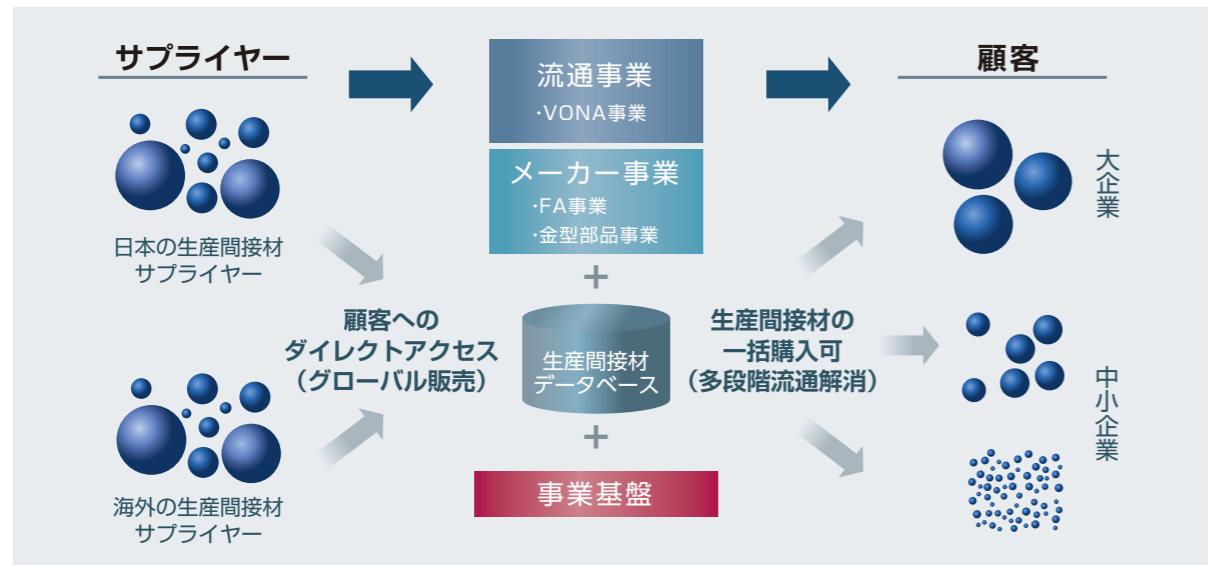
〈VONAグローバル展開の加速〉

世界の各地域の顧客ニーズに合致した品揃えによりワンストップ性向上を図り、グローバル展開の加速を強力に推進してまいります。既に2015年度には中国、韓国での試行を実施。2016年度は東南アジアへの展開を進めてまいります。

VONA事業の急速な拡大により、VONAの顧客数が大幅に増加するとともに、国内外ともに全社の販売社数も確実に増加し、メーカー事業とのシナジー効果が改めて確認できました。今後とも当社の中核事業として位置付け、事業拡大を加速させてまいります。

■生産材プラットフォーム構想

生産材プラットフォーム構想



メーカー事業と流通事業を併せ持つ強みを最大限に発揮するためには、生産、物流、IT、顧客サービスなどの事業基盤（プラットフォーム）のさらなる進化が必要となります。そのために、世界最適生産・最適配送の追求、高品質なデータベース基盤の整備、製造業に特化した顧客対応サービスや時間価値の提供など、グローバルオペレーションの進化に努めてまいります。こうした活動を通じて、Q（高品質）、C（低コスト）、T（確実短納期）の革新を実現してまいります。

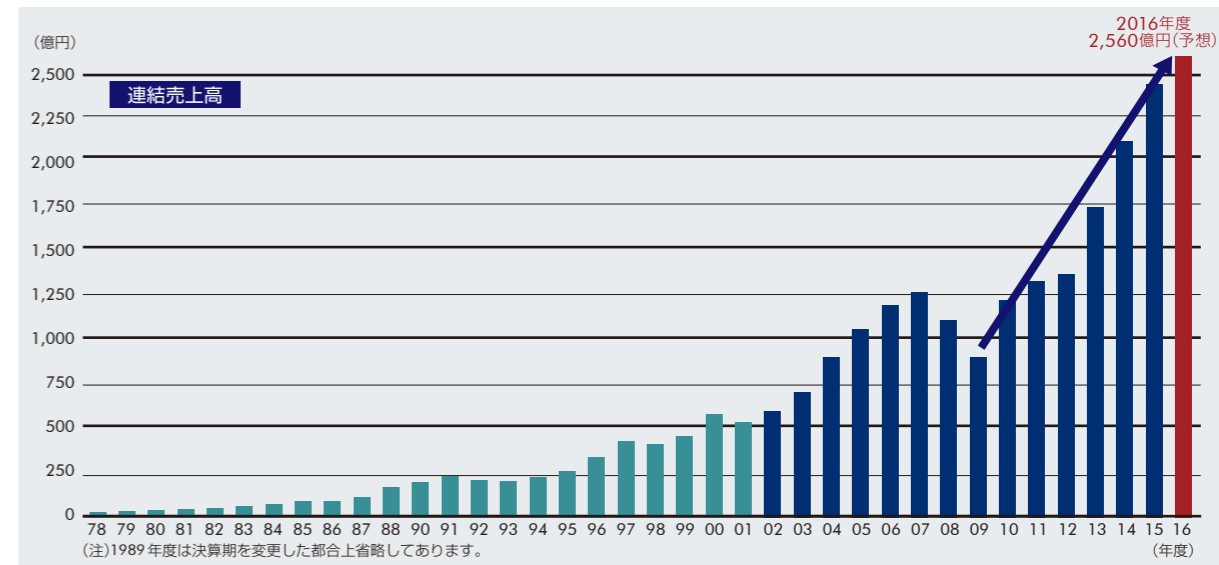
とりわけ、製造業のグローバルな構造転換による新たなものづくりへの対応を強化するため、引き続きIT基盤への投資を行ってまいります。IT投資につきましては、これ

までに日本と同様の高水準なオペレーションを海外で実現するためのシステム基盤導入が完了しており、今後は顧客との接点となるフロントエンド機能の改革を強力に推進してまいります。

当社は、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークさを活かすとともに、これを支える事業基盤（プラットフォーム）をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業成長を加速させてまいります。

■2017年3月期の連結業績見通し

ミスミグループの業績推移



わが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、景気は緩やかに回復していくことが予想されるものの、年初からの円高・株安等の影響により先行き不透明な状況となっております。世界経済については、米国の金融政策正常化に向けた動きの影響、欧州、中国やその他新興国経済の先行き、原油価格下落の影響、地政学的リスク等に留意が必要で、今後も不透明な状況が続くものと思われま。

このような市場環境下において、当社は商品ラインアップの強化とコスト競争力強化を進めるほか、グローバル確実短納期供給の強化に努め、国際市場での一層の事業拡大により、市場シェアの伸長を図ることで、

連結売上高、利益ともに引き続き過去最高を更新する予定です。

また、1株当たり配当金は、年間16円23銭（中間7円75銭、期末8円48銭）を予定しております。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役社長 CEO 大野 龍隆

■ 連結財務ハイライト

2016年3月期の売上高は2,401億円(前年比15.1%増)、営業利益は256億円(同8.1%増)となり5期連続で過去最高を更新しました。

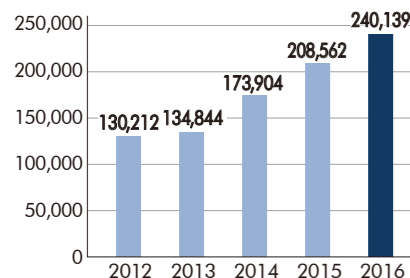
セグメント別売上高は、FA事業1,096億円(前年比10.7%増)、金型部品事業697億円(同7.7%増)、VONA事業604億円(同25.3%増)となりました。

地域別売上高は、日本1,289億円(前年比14.8%増)、中国385億円(同25.4%増)、アジア288億円(同

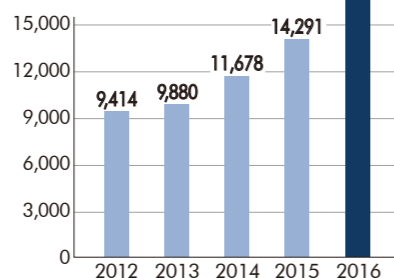
7.7%増)、アメリカ271億円(同13.2%増)、ヨーロッパ121億円(同11.8%増)、その他45億円(同17.2%増)となり、海外売上高比率は46.3%(同0.2ポイント増)となりました。

2016年3月期の期末配当金は8円05銭とし、年間配当金は中間配当金7円37銭と合わせ1株当たり15円42銭(前年比2円37銭の増配)とさせていただきます。

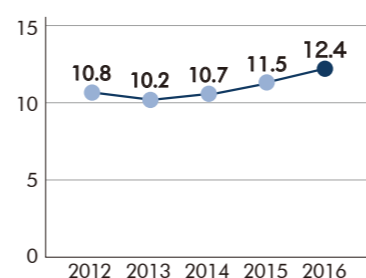
●売上高 (単位:百万円)



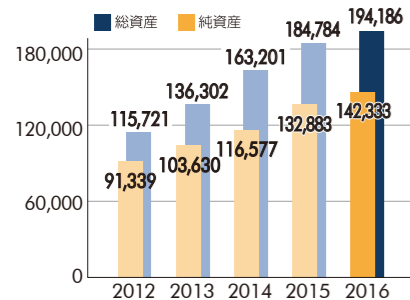
●当期純利益 (単位:百万円)



●ROE (単位:%)

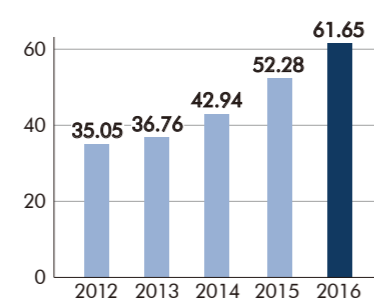


●総資産、純資産 (単位:百万円)



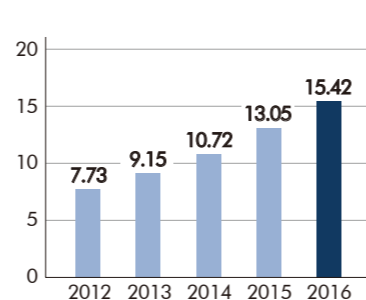
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●1株当たり当期純利益*(単位:円)



*2015年7月1日付の株式分割調整後。

●1株当たり配当金*(単位:円)



事業概要

FAなどの自動機の標準部品を主に扱うFA事業、自動車や電子・電気機器などの金型部品を主に扱う金型部品事業、新たな流通事業としてミスミブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品に加えて、製造副資材やMRO(消耗品)などを販売するVONA事業で構成されております。

■ ミスミグループの主な取扱製品

	取扱商品群	精密機械部品 1,200万点				
FA事業	FA用メカニカル標準部品	シャフト	タイミングプーリ	リニアプッシュ	アルミフレーム	
	位置決め・計測機器 (OST事業)	自動ステージユニット	アクチュエータ	光学計測器	光デバイス組立検査装置	
金型部品事業	プレス金型用標準部品	パンチ	ボタンダイ	精密級ガイドピン	ガススプリング	
	プラ型用標準部品	エジェクタピン	スプループッシュ	パーティングロックセット	テーパピン	
VONA事業	メカニカル部品/ねじ・ボルト・座金・ナット	センサ・スイッチ	継手	ねじ・ボルト・ナット	キャスタ	
	配線部品/制御部品・PC部品	コネクタ	スイッチ	ケーブル	トランス	
	切削工具/生産加工用品	エンドミル	ペンチ	旋盤用チップ	ワイヤー線	
	梱包・物流保管用品/安全保護・環境衛生・オフィス用品	台車	作業用手袋	パーツクリーナー	研究開発用品	

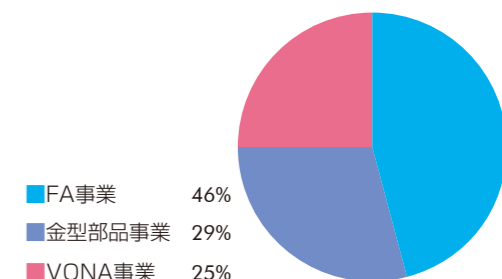
*FA: Factory Automation *OST: Optical & Scientific Technology *VONA: Variation & One-stop by New Alliance

■ セグメント別売上高・営業利益の推移 (単位:百万円)

		当期	前期
		2015.4.1~2016.3.31	2014.4.1~2015.3.31
FA事業	売上高	109,653	99,094
	営業利益	18,756	16,815
金型部品事業	売上高	69,732	64,737
	営業利益	3,464	4,279
VONA事業	売上高	60,474	48,248
	営業利益	3,652	2,907
調整額	売上高	279	△3,517
	営業利益	△182	△242
合計	売上高	240,139	208,562
	営業利益	25,690	23,759

*2014年4月より、上記の3事業にセグメントを変更しております。

■ 連結売上高比率 [2016.3.31]



●連結貸借対照表(単位:百万円)

科目	当期 2016.3.31	前期 2015.3.31
(資産の部)		
流動資産	140,795	131,794
現金及び預金	52,891	51,604
受取手形及び売掛金	49,373	44,046
有価証券	-	1,604
たな卸資産	30,058	28,377
繰延税金資産	2,604	2,340
未収還付法人税等	1,067	864
その他	5,055	3,203
貸倒引当金	△257	△246
固定資産	53,391	52,989
有形固定資産	29,180	27,939
無形固定資産	19,714	20,602
ソフトウェア	6,159	4,334
のれん	3,457	5,345
その他	10,097	10,923
投資その他の資産	4,495	4,447
資産合計	194,186	184,784

科目	当期 2016.3.31	前期 2015.3.31
(負債の部)		
流動負債	31,585	30,704
支払手形及び買掛金	14,414	12,878
未払金	5,951	6,578
未払法人税等	3,847	4,460
賞与引当金	2,383	1,437
役員賞与引当金	310	337
その他	4,679	5,013
固定負債	20,267	21,195
新株予約権付社債	11,268	12,017
繰延税金負債	3,462	4,007
退職給付に係る負債	3,992	3,538
その他	1,544	1,632
負債合計	51,853	51,900
(純資産の部)		
株主資本	138,475	124,944
資本金	6,996	6,840
資本剰余金	17,385	17,229
利益剰余金	114,169	100,947
自己株式	△76	△73
その他の包括利益累計額	2,986	7,194
新株予約権	342	228
非支配株主持分	527	516
純資産合計	142,333	132,883
負債純資産合計	194,186	184,784

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書(単位:百万円)

科目	当期 2015.4.1~ 2016.3.31	前期 2014.4.1~ 2015.3.31
売上高	240,139	208,562
売上原価	139,096	120,696
売上総利益	101,043	87,866
販売費及び一般管理費	75,352	64,106
営業利益	25,690	23,759
営業外収益	536	466
営業外費用	1,108	873
経常利益	25,119	23,352
特別利益	109	-
特別損失	225	409
税金等調整前当期純利益	25,003	22,942
法人税、住民税及び事業税	8,858	8,507
法人税等調整額	△805	127
当期純利益	16,950	14,307
非支配株主に帰属する当期純利益	42	15
親会社株主に帰属する当期純利益	16,907	14,291

●連結株主資本等変動計算書(単位:百万円)

当期 2015.4.1~2016.3.31	株主資本					その他の 包括利益 累計額	新株 予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2015年4月1日残高	6,840	17,229	100,947	△73	124,944	7,194	228	516	132,883
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額									
新株の発行	155	155	-	-	311	-	-	-	311
剰余金の配当	-	-	△3,684	-	△3,684	-	-	-	△3,684
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	16,907	-	16,907	-	-	-	16,907
自己株式の取得	-	-	-	△3	△3	-	-	-	△3
自己株式の処分	-	0	-	0	0	-	-	-	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△4,207	113	11	△4,082
当期変動額合計	155	156	13,222	△3	13,531	△4,207	113	11	9,449
2016年3月31日残高	6,996	17,385	114,169	△76	138,475	2,986	342	527	142,333

●連結包括利益計算書(単位:百万円)

科目	当期 2015.4.1~ 2016.3.31	前期 2014.4.1~ 2015.3.31
当期純利益	16,950	14,307
その他の包括利益		
その他の有価証券評価差額金	△13	△3
為替換算調整勘定	△4,192	4,304
退職給付に係る調整額	△28	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	4
その他の包括利益合計	△4,238	4,317
包括利益	12,711	18,625
(内訳)親会社株主に係る包括利益	12,700	18,592
非支配株主に係る包括利益	11	33

●連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	当期 2015.4.1~ 2016.3.31	前期 2014.4.1~ 2015.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,714	11,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,470	△7,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,581	△3,453
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,724	2,609
現金及び現金同等物の増減額	1,937	3,014
現金及び現金同等物の期首残高	37,267	34,253
現金及び現金同等物の期末残高	39,204	37,267

■発行可能株式総数 1,020,000,000株

■発行済株式総数 274,606,752株

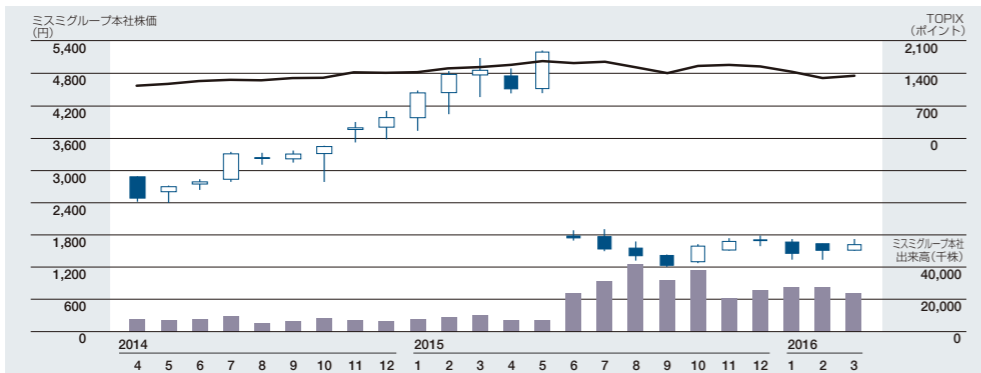
■株主数 4,430名

■大株主

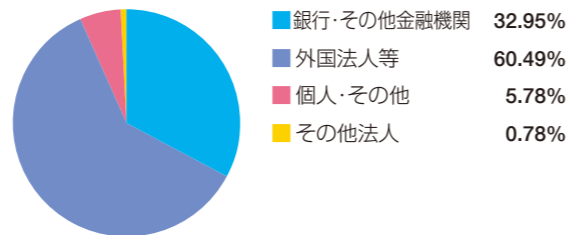
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	39,948	14.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	23,061	8.40
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.89
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN 常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社	8,790	3.20
田口 弘	7,321	2.67
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS 常任代理人 香港上海銀行東京支店	6,954	2.53
資産管理サービス信託銀行	6,801	2.48
GOLDMAN,SACHS&CO.REG 常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社	6,640	2.42
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST,BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS-UNITED KINGDOM 常任代理人 香港上海銀行東京支店	5,905	2.15
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,265	1.92

(注) 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

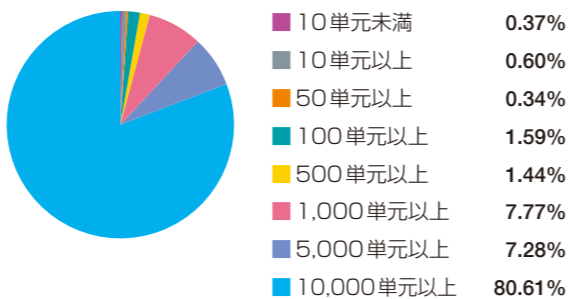
■株価の推移



■株主構成
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



■会社概要

商号 株式会社ミスミグループ本社
(英文名: MISUMI Group Inc.)
設立 1963年2月23日
本社 東京都文京区後楽二丁目5番1号
飯田橋ファーストビル
資本金 69億96百万円
事業内容 グループの経営戦略立案や管理ならびに
それらに付随するグループ経営に必要な機能
を有する
従業員数 9,628名 (ミスミグループ連結)
U R L <http://www.misumi.co.jp/>

■ミスミグループトップマネジメント(2016年6月16日現在)

取締役
取締役(議長) 三枝 匡 取締役会議長
取締役 大野 龍隆 代表取締役社長 CEO
取締役 江口 正彦 取締役副社長
取締役 池口 徳也 専務取締役
取締役 男澤 一郎 常務取締役 CFO
取締役(社外) 沼上 幹
取締役(社外) 小城 武彦

■経営執行役員

ミスミグループ本社
代表取締役社長 CEO 大野 龍隆
取締役副社長 江口 正彦
専務取締役 池口 徳也
常務取締役 CFO 男澤 一郎
常務執行役員 内田 洋輔
執行役員 有賀 誠

■企業体・本部・サービスプラットフォーム

中国企業体CEO 金谷 知樹
アジア企業体CEO 清水 重貴
金型企業体社長 和田 高明
OST企業体社長 丸井 武
FA商品事業本部長 中川 理恵
VONA商品事業本部長 高阪 貴夫
VONA商品事業副本部長 岡本 道明
生産サービスプラットフォーム
代表執行役員
MIGサービスプラットフォーム
副代表執行役員 白尾 直樹
ITサービスプラットフォーム
副代表執行役員 峰島 孝之

■監査役

監査役 宮本 博史
監査役(社外) 野末 寿一
監査役(社外) 平井 秀忠

■顧問

特別顧問・創業者 田口 弘

■株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(同送付先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-7111 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

公告の方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない
事故その他やむを得ない事由が生じた場
合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.misumi.co.jp/ir/>

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未済株式買取請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に登録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、国内および諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。

実際の業績に影響を与え得る重要な要素にはミスミグループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。